

シーニックバイウェイ北海道 候補ルート

日 高 シーニックバイウェイ

～日高の自然の恵みと感動に出会う道～

ルート運営活動計画骨子



日高シーニックバイウェイ ルート代表者会議

目 次

1	ルートのエリア及び概要	1
1.	ルートの概要	1
2.	エリア町	2
2	ルート名称とテーマ	4
3	ルート特性と課題	5
1.	ルートの特性	5
2.	ルートの課題	8
4	地域資源	9
5	ルートの活動体制及び目標・内容	10
1.	ルートの活動体制（案）	10
2.	活動目標と内容	11
6	ルートの活動団体	12
1.	活動団体一覧	12
2.	活動団体概要	13
7	ルートの活動計画（案）	18
1.	候補ルート申請に向けた活動経過	18
2.	今後の活動予定（案）	20
3.	指定ルートの提案に向けて	21
8	写真提供元一覧	22

1 ルートのエリア及び概要

1. ルートの概要

日高山脈と広大な太平洋に挟まれるように東西に連なる日高地域。清らかな空気と水、それらに育まれた農畜産物、サラブレッドが草を食む牧場風景、太平洋に沈む夕陽、満天の星空など、日高の魅力は多くの人の感動を呼んでおります。

その中で、様似町の「アポイ岳ジオパーク」は平成 27 年にユネスコ世界ジオパークの認定を受けており、世界でも類を見ない新鮮で多彩な「かんらん岩」からなる山々と、珍しい固有の高山植物やアイヌ文化伝承、江戸時代から交易の拠点として栄えてきた歴史や文化を楽しむことができます。また、日高・十勝管内にまたがる「日高山脈襟裳国定公園」を、環境省は、地元の長年の悲願である国立公園に指定する方針を固めています。現在の公園面積よりも対象範囲を拡大した上で、特別保護区などの規制区域を盛り込んだ計画の素案を策定し、中央環境審議会への諮問などの手続きを経て、数年以内に指定する予定となっています。指定されれば、道内の国立公園としては昭和 62 年指定の釧路湿原国立公園以来、7 箇所目となります。

現在日高地域では、地域住民が生活を営む上で欠かせない交通網が大きな転換期を迎えています。令和 3 年 4 月 1 日に、JR 日高線 鷗川―様似間の 116km 区間が廃止されました。日高地域は東西に長く連なる地域であり、JR 日高線が廃線となったことで、道路交通網が唯一の交通手段となり、現在整備されている日高自動車道が、物流の効率化や移動時間の短縮、緊急医療体制構築などを担うこととなります。日高自動車道は、道央自動車道苫小牧東インターチェンジから浦河町に至る計画としており、これまでに日高厚賀インターチェンジまでの区間が開通済みで、厚賀静内道路（L=16.2km）および静内三石道路（L=8.0km）の整備が引き続き進められています。

国道を利用することが生活の核となっている現在、沿線自治体はもとより、地域住民同士が連携を強めていくことが今後不可欠となります。車社会が中心となる日高地域にとって、単に道路を整備するのみに留まらず、それぞれの町としても立ち止まってもらい、その町にしかない名所を見てもらい、歴史を知ってもらい、さらに買い物をしてもらいたいと思っています。日高地域には、国道 235 号、国道 236 号、国道 237 号、国道 336 号など、太平洋に沿って多様な魅力ある道路が通っており、「日高山脈襟裳国定公園」が国立公園に指定されれば、さらなる広域観光が展開されることが期待されます。



太平洋に沈む夕陽



日高山脈と牧場風景



アポイ岳ジオパーク

2. エリア町

カントリーサイン	概	要
 えりも町 Erimo Town	全国的に知られる襟裳岬のあるまち。「風極の地」と呼ばれる日本屈指の強風地帯でもあります。 北海道銘菓のテレビ CM で注目を浴びたハート形に見える湖・豊似湖などの数多くの景勝地があります。	人口：4,351 人 面積：284.00km²
 様似町 Samani Town	まち全体が「アポイ岳ジオパーク」。貴重な大地の遺産、豊かな自然環境、由緒ある歴史文化を丸ごと楽しむことができます。また、豊かな自然を生かした、うに、真つぶ、昆布、鮭等の漁業等が盛んです。	人口：4,043 人 面積：364.30km²
 浦河町 Urakawa Town	約 200 の牧場があり 3,000 頭以上のサラブレッドが駆け回る浦河町。日本最大級の乗馬リゾート「うらかわ優駿ビレッジ AERU」では、広大な敷地でのホーストレッキングや様々な乗馬プログラムが人気です。	人口：11,346 人 面積：694.24km²
 新ひだか町 Shinhidaka Town	全国のサラブレッドの 2 割以上が誕生する、サラブレッド生産頭数日本一のまち。約 7km の直線道路の両側におよそ 3,000 本の桜が咲き誇る「二十間道路桜並木」は、「さくら名所 100 選」や「北海道遺産」に選定されています。	人口：21,202 人 面積：1,147.55km²
 新冠町 Nikappu Town	道の駅サラブレッドロード新冠の敷地内にある町のシンボルである「レ・コード館」は、全国から寄贈されたレコード 100 万枚が収蔵されています。レ・コード館中央部にそびえ立つ展望タワーである優駿の塔は、高さが 36m あり、新冠の街並みや牧場風景、太平洋などの雄大な自然を 360° 一望することができます。	人口：5,213 人 面積：585.81km²
 日高町 Hidaka Town	シシャモの産地として知られる日高町。4～11 月には門別競馬場でホッカイドウ競馬が開催され、迫力のあるレースを間近で観戦することができます。豪快なバケツジンギスカンは門別競馬場の名物となっています。	人口：11,054 人 面積：992.14km²
 平取町 Biratori Town	出荷量全道一を誇るトマトや、黒毛和牛が特産品。「芽生すずらん群生地」は、日本一の広さを誇る野生のすずらん群生地となっており、5 月下旬～6 月上旬に一般公開されます。「二風谷アイヌ文化博物館」ではこの地域ならではの独自のアイヌ文化を体験できます。	人口：4,645 人 面積：743.09km²

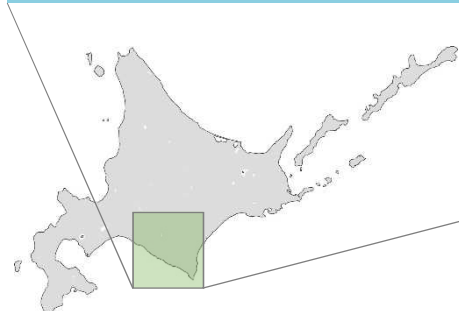
※人口は、令和 4 年 6 月末現在

●メインルート

- ・国道 235 号
- ・国道 237 号
- ・国道 274 号
- ・国道 236 号
- ・国道 336 号

●サブルート

- ・周辺の道道及び町道



2 ルート名称とテーマ

【ルートの名称】

日高シーニックバイウェイ

【テーマ】

日高の自然の恵みと感動に出会う道

日高シーニックバイウェイは、日高山脈と広大な太平洋に挟まれるように東西に連なる地域です。清らかな空気と水、それに育まれた農畜産物、サラブレッドが草を食む牧場風景、太平洋に沈む夕陽、満天の星空など、日高の魅力は多くの人の感動を呼んでいます。

太平洋に沿った国道 235 号と国道 236 号は「優駿浪漫街道」、国道 236 号と国道 336 号は「とんがりロード」、国道 237 号は「沙流（さる）ユウカラ街道」と、それぞれが愛称を持っており、道央圏ルートとして、また十勝圏ルートとして、重要な役割を担っています。えりも町、様似町、浦河町、新ひだか町、新冠町、日高町、平取町の各町が持つ資源と、今後期待される日高山脈襟裳国立公園の国立公園化に伴った多くの旅行者の来訪や移住者の増加によって、これらのルートが人流や経済の活発化に寄与することが期待されます。また、当ルート内では日高自動車道の整備が進められており、道央圏からのアクセス性が向上していることから、観光交通の増加、来訪者によるルート内での行動範囲の拡大、滞在時間の増加が期待されます。

競走馬と海産物等で繁栄してきた日高地域には、美しい自然景観や海山で育まれる食文化など、様々な地域資源も広域に点在しています。これらの北海道を代表する資源をさらに多くの人に知ってもらうためにも、地域間で連携し、地域全体として魅力を発信していくことが重要です。現在進行中である日高山脈襟裳国立公園の国立公園への認定により、日高の自然を、国内にとどまらず、世界に発信をしていくこととなります。

今後は、シーニックバイウェイ北海道の基本方針を踏まえ、地域固有の景観、自然、歴史、文化、レクリエーション資源等の地域資源を最大限に活用し、地域住民と行政が連携し、「美しい景観づくり」、「活力ある地域づくり」、「魅力ある観光空間づくり」を実践していきます。



日高山脈とサラブレッド



日高の自然の恵みで育まれた食文化

3 ルートの特性と課題

1. ルートの特性

日高管内 7 町で構成する当ルートは、年間を通じて寒暖差が少なく、夏は涼しく、冬は比較的冷温とならず積雪が非常に少ないという、北海道内でも気候が温暖な過ごしやすい地域です。

●地域資源

日高管内の地域資源は、軽種馬や乗馬など「馬」に関連する産業や、日高昆布や鮭などに代表される水産業、そして、日高山脈を中心とした豊かな自然環境があげられ、これらを活用した取り組みが数多く行われています。また、新冠町の「レ・コード館」、えりも町の「風の館」、日高町の「日高山脈博物館」などの「心の豊かさ」や「地域の個性」を生かした様々な文化施設の整備が進み、これらが地域文化の新しい発信源となっています。



レ・コード館（新冠町）

●日高山脈

日高山脈は、北海道中央南部にある「北海道の背骨」とも呼ばれる大山脈。狩勝峠から襟裳岬まで続く約 150km の山並みは、ナイフリッジが多く見られる稜線、さらに氷河地形のカーブが広がる陰峻な地形をしているのが特徴です。ユーラシアプレートに北米プレートが乗り上げるようにして、日高山脈は誕生しました。それと同時に、これまで地球の奥底にあった地層が姿を現しました。浅い地層から深い地層までがきれいに順序よく並んでいるのが日高山脈の特徴で、これは世界的にも貴重な光景となっています。未整備の登山道も多く残り、北日高、中日高、南日高の 3 つのエリアに大別され、最高峰は北日高エリアに属する標高 2,052m の幌尻岳です。

現在は、日高山脈襟裳国定公園として指定をされており、山域は日本最大の国定公園となっています。特にアポイ岳は、低山ながらヒダカソウなどの珍しい高山植物が見られることで有名です。

現在、日高山脈襟裳国定公園の国立公園化について作業が進められており、地元としても大きな期待を寄せているところでもあります。雄大な山並みが登山客を魅了していますが、これからは、この日高のシンボルをどのように保護し、地域に活かし、また貴重な財産として世界に発信していくことを目指します。



●アイヌ文化

北海道で人類が暮らし始めたのは約3万年前で、アイヌ文化が生まれたのは600～700年前（鎌倉～室町時代）であったと言われています。鎌倉時代から蝦夷地への和人の移住が増えるにつれてアイヌとの衝突が起こるようになります。この時代は、シベチャリ（静内）川では砂金が取れ、多数の和人が入り込んでおり、また、アイヌの人々と松前藩との交流も行われていました。明治以前の先住の民は、海沿いの丘に住居を作り、河海に魚介、山野に鳥獣



アイヌ文化を伝える「ニ風谷アイヌ文化博物館」（平取町）

狩りを行っていましたが、松前藩の介入により各地漁場を分割し独占が行われ、やがて場所貿易の独占権を商人に委託しました。そして、これまでもアイヌ間にあった交易時の不平等な交換率などの反感が一気に高まり、争いへと発展しました。松前藩は支配地域を拡大するとともに、アイヌの人々を支配下に治め、アイヌの人々が自発的に収穫した産物の交易を行っていましたが、その後、アイヌの人々は和人の要求する産物の収穫や和人の漁場の労働者となっていきました。その後、時代とともに民族の同化が進められて苦難の生活を強いられながらも、アイヌ民族独自の伝統文化を継承し、先住権を取り戻すために、忍耐強い努力が続けられました。現在、差別と困窮の元凶と言われた「旧土人保護法」が廃止され（平成7年）、日本初の民族法である「アイヌ文化振興法」が内容不十分ながらも成立したことは、アイヌの人々にとって民族として対等な立場を目指す第一歩を踏み出したといえます。

●馬文化

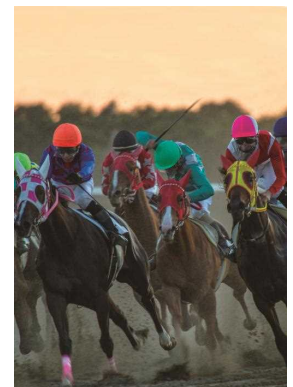
日高地域は、北海道の中では気候も温暖で積雪も少ない地域ですが、濃霧発生地帯でもあり、火山灰地が厚く被覆しています。そのため、農業の中でも特に畜産業に適しており、古くから馬産地として位置付けられていました。明治5年に、小型馬を大型化して広く用役に遣わせるため「新冠牧場」が開設され、新冠町・旧静内町（現・新ひだか町）にまたがる約7万haの広大な牧場を整備し、北海道馬産政策の拠点として位置付けていました。



牧場の馬

現在、日高地域は全国の軽種馬生産頭数の約80%を占めており、「優駿のふるさと」として全国に名を馳せています。オグリキャップなどの名馬が引き続き誕生して活躍していますが、生産数では日高地域が胆振地域よりも多いものの、G1レースにおける過去10年の優勝馬は胆振地域の方が多くなっており、日高地域においては強い馬づくりが課題となっています。

現在、地方競馬としてホッカイドウ競馬が元気を取り戻しており、令和3年度の販売金額は、1年間の販売額としてのレコードを更新しました。ホッカイドウ競馬の開催地である門別競馬場は、北海道唯一のナイト中心の競馬場としてレースを開催しており、ライトを浴びて駆け抜ける優駿の姿を間近で見ることができ、北海道の雄大な自然を感じながら、ナイトレースの興奮とサラブレッドのロマンを楽しめます。



ホッカイドウ競馬
（門別競馬場(日高町)）

●水産業

日高山脈西側に面した太平洋を主とした日高地域。山脈がもたらす豊かな水産資源によって、日高地域では、1年を通じて様々な漁業が行われています。冬の寒さとともに始まるすけとうだら漁、こだわりの品質で地域ごとのブランドを持つ鮭の定置網漁、伝統的漁法を続けるたこの空釣り網漁、他にも、季節ごとに、昆布、ツブ、たらなどの魅力的な水産資源に恵まれています。この豊かな資源や地域の特性を活かすためにも、日高地域では、種苗育成・放流や昆布干し場の整備、水産技術の向上を目指しており、次世代へ資源を引き継ぐための挑戦を続けています。



鮭の定置網漁（えりも町）



日高地域で採れる昆布

●食

日高地域には、四季を通じて美味しい食材であふれています。

春は「春ウニ」が旬を迎え、日高地域の春はウニ漁の最盛期。日高昆布を食べて育ったウニは甘みが濃く、身入りも良くて絶品です。「たこ」は、日高沖のプランクトンが豊富で道内産のうち約2割を占める全道一の生産地となっています。

夏に採れる「夏イチゴ」として、浦河町と様似町で協力して生産している「すずあかね」が、ケーキをはじめとするお菓子用として高い評価を得ています。また、日高地域はトマトの栽培に適した冷涼な気候なため「トマト」の産地にもなっています。



夏イチゴ

冬の旬としては「銀聖（鮭）」が挙げられます。親潮と黒潮がぶつかる好漁場である日高地域で獲れた銀毛鮭の味は格別です。その中でも特に大型で、銀一色の美しいものを「銀聖」としてブランド化しています。サケの産地として有名な日高沖では、「いくら」の味わいにも甘みとコクがあり、絶品です。同じく冬に漁獲される「毛がに」も、身が引き締まり、濃い旨みと甘みを特徴とする、日高地域を代表する冬の味覚となっています。そして「シシャモ」は、北海道では太平洋沿岸の一部でしか獲れない幻の魚。艶やかな色合いに、焼くと香ばしい香りで味わいがあります。



銀聖

また、日高地域では美味しい和牛が味わえます。「びらとり和牛」は、平取町の凍てつく冬の寒さを乗り越えることで肉の旨味が濃縮され、味が濃いのが特徴。「みついし牛」は、生まれたその日から、1頭1頭が最高の肉質を目指して大切に育てられる純粋な地元産牛です。「こぶ黒」は、日高地域特産の昆布を食べて育った黒毛和牛。昆布が赤身にコクを出し、肉の濃さを増します。「えりも短角牛」は、低脂肪で滋味のある良質の赤身肉で、カロリーや脂肪量が少ない上に肉の味を決めるアミノ酸が豊富です。



びらとり和牛（平取町）

●観光

日本最後の山岳秘境と呼ばれる日高山脈と広大な太平洋に挟まれるように東西に連なる日高地域には、様々な楽しみ方があります。

「体験する」

日高は全国のサラブレットの約 8 割を生産する馬産地で、馬産地の特色を活かした乗馬施設が管内の各町にあります。また、平取町の「芽生すずらん群生地」は日本一の広さを誇る野生のすずらん群生地となっており、毎年 6 月にはすずらん鑑賞会が開かれます。さらに、海でのシーカヤック（えりも町）、川での沙流川ラフティング（日高町）も楽しめます。

「見る」

襟裳岬（えりも町）、アポイ岳ジオパーク（様似町）、オオワシ・オジロワシウォッチング（浦河町）、優駿さくらロード（浦河町）、二十間道路桜並木（新ひだか町）があり、訪れた人を感動させ、楽しませています。



芽生すずらん群生地（平取町）



オオワシウォッチング（浦河町）



夜の闇に浮かぶ「優駿さくらロード」（浦河町）

2. ルートの課題

●人材確保と組織間の連携

日高地域の 7 町全てが過疎地域であり、少子高齢化が進んでいるため、各町における事業の継続が厳しくなっています。これは、過疎化及び少子高齢化により、それを支えている人々が減少していることが大きな要因として考えられます。また、通年型の観光地が少ないことから、観光や観光客に対する、住民レベルの意識共有とボランティア的な参加が脆弱となっています。観光業界と行政の間での連携はあるものの、ボランティアによる活動が中心となっており、これからのシニクバイウェイの取り組みをどのように構築させていくのか、また、長きにわたって継続させていくことができるのか、大きな課題を抱えています。これには、今まで以上のマンパワーと各町・各地域での連携を密にし、活動を展開していくことが重要となります。

●連携のための情報共有

日高地域は 7 町が横並びに位置し、「横」の連携が図りやすい位置付けとなっています。しかし、各町それぞれでは地道な地域活動を継続しているものの、各町の間での情報共有が進んでいない現状です。今後、各町における産業や観光等の魅力的な情報を、各町が単独で発信するのではなく、管内の広域連携を念頭に置き、維持・管理の担い手不足を補い、来訪者はもとより地域住民も情報と意識を共有できる取り組みが必要です。

4 地域資源

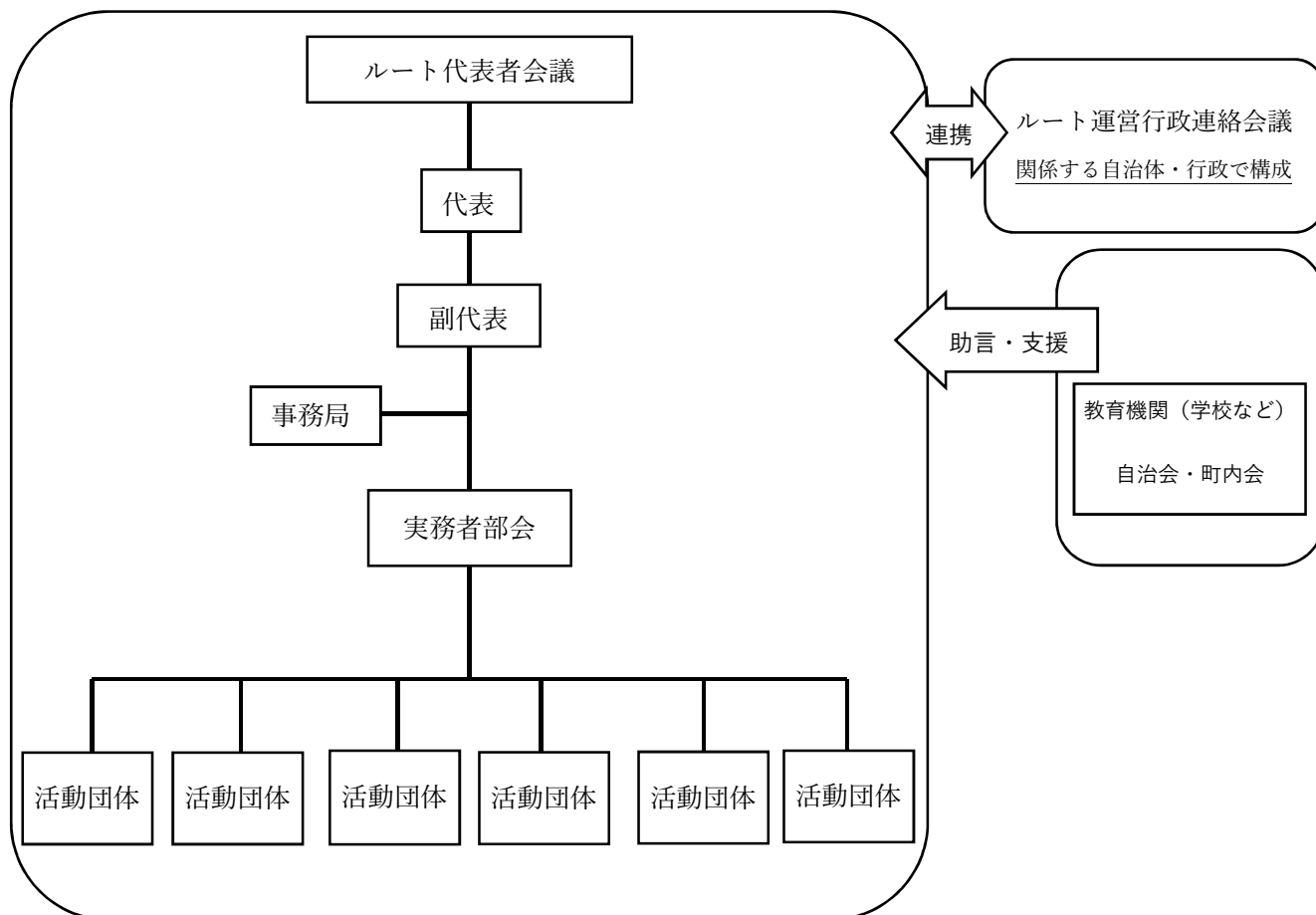
●各町における地域資源

	自然・環境	歴史・文化	食	体験など
えりも町	- 襟裳岬 - 豊似湖 - 百人浜 - 庶野さくら公園 - ゼニガタアザラシ	- 幌泉灯台記念塔 - 猿留山道 - 郷土資料館「ほろいずみ」・水産の館	- ウニ - 鮭 - コンブ - いくら - カニ、タコ	- 風の館 - 豊似湖遊覧 - 森と湖の里 ふれ愛館 - 百人浜オートキャンプ場 - 鮭の飯寿司づくり体験
様似町	- アポイ岳 - かんらん岩 - 高山植物 - 幌満峡 - 親子岩とソピラ岩	- 幌満川稲荷神社 - ゴヨウマツ記念碑 - 等澍院 - 様似郷土館	- ウニ - コンブ - カニ - 鮭 - ツブ	- アポイ岳ジオパークビジターセンター - アポイ山麓パークゴルフ場 - 親子岩ふれ愛ビーチキャンプ場 - ホテルアポイ山荘
浦河町	- 競走馬 - 天馬街道五色渓谷 - オオワシ - オジロワシ - 優駿さくらロード	- 元浦河教会 - 赤心社記念館 - 浦河町立郷土博物館「優駿の門」 - 馬事資料館	- イチゴ - 鮭 - コンブ - イカ - いくら	- 柏陽館 - 浦河町総合文化会館 - オロマップキャンプ場 - うらかわ優駿ビレッジ AERU - イーグルウォッチング
新ひだか町	- 二十間道路桜並木 - 道の駅みついし - ペテガリ岳 - 競走馬 - 三石海岸の夕陽	- シャクシャイン記念館 - アイヌ民族資料館 - 龍雲閣 - 競走馬セリ市場 - 新ひだか町博物館	- 鮭 - コンブ - いくら - ミニトマト - 蜂蜜	- ライディングヒルズ静内 - 静内温泉 - みついし昆布温泉 - 観光周遊バス「ロマン・ロード号」 - みついしふれあいビーチキャンプ場 - 競走馬のふるさと案内所
新冠町	- 幌尻岳 - 新冠泥火山 - 競走馬 - 道の駅サラブレッドロード新冠	- レ・コード館 - 太陽の森 ディマシオ美術館 - サラブレッド銀座 - 新冠町郷土資料館	- ピーマン - グリーンアスパラ - かぼちゃ - 鮭 - 乳製品	- 判官館森林公園 - にいかっぷボロシリ乗馬クラブ - ツリークライミング - 西泊津ヒルズパーク パークゴルフ場 - 新冠温泉「レ・コードの湯」
日高町	- 日勝峠 - 沙流川源流原始林 - 神楽岡公園 - 競走馬 - 道の駅樹海ロード 日高	- 門別競馬場 - 日高町立日高図書館郷土資料館 - 国立日高青少年自然の家 - 日高山脈博物館	- シシヤモ - 鮭 - いくら - コンブ - 乳製品	- 沙流川温泉ひだか高原荘 - 門別温泉とねっこの湯 - 日高国際スキー場 - 北海道アウトドアアドベンチャーズ - 日高沙流川オートキャンプ場
平取町	- 幌尻岳 - 芽生すずらん群生地 - 競走馬 - 沙流川	- 二風谷アイヌ文化博物館 - 沙流川歴史館 - イザベラ・バードが辿った道 - 義経神社 - 振内鉄道記念館	- トマト - 和牛 - 黒豚 - 寒づめほうれん草	- 二風谷工芸館 - 平取町アイヌ工芸伝承館「ウレシパ」 - びらとり温泉「ゆから」 - 幌尻岳登山

5 ルートの活動体制及び目標・内容

1. ルート活動体制（案）

日高シーニックバイウェイでは、以下の体制で活動を行う。



代 表	日高管内商工会連合会 会 長 工藤 仁（様似町商工会長）
副 代 表	日高管内商工会連合会 副会長 河原 秀幸（新ひだか町商工会長）
副 代 表	日高管内商工会連合会 副会長 上田 守（日高町商工会長）
理 事	えりも町商工会長・新冠町商工会長・平取町商工会長・浦河商工会議所会頭
事 務 局	新ひだか町商工会 事務局長 渡辺 勝造
実務者部会	美しい景観づくり・活力ある地域づくり・魅力ある観光空間づくりのための企画・立案を行う
活動団体	各部会への参画や地域等との連携を行う

2. 活動目標と内容

●活動目標と内容、課題

活動分類	活動目標	具体的な活動内容	課 題
景観	地域の歴史・ 自然環境を活かした 景観づくり	①ルートの景観診断 ・暮らしの景観調査 ・シーニックデッキの設置検討 ②地域の歴史・自然環境ポイントの発信 ③景観に配慮したビューポイント 案内の検討（案内サインの企画） ④道路河川清掃活動	・人材の確保 ・ボランティアの拡大 ・ホスピタリティの 向上 ・看板等の設置 ・資源の発掘
地域	地域の特性と文化を 活かした 地域づくり	①日高シーニックバイウェイ広報 ツールの作成・情報発信（HP・SNS等） ②ロードマップの作成 ・地域の歴史や文化に関する情報整理 ・地域の食や花に関する情報整理 ・地域の芸術に関する情報整理 ・地域イベントに関する情報整理 ③道の駅と連携した地域づくり ④文化や歴史・芸術・食と連携した 地域づくり	・人材の確保 ・ボランティアの拡大 ・歴史・文化の整理
観光	地域産業と特性を 活かした 観光空間づくり	①サイクルツーリズム ②ラーニングツーリズム （体験型ツーリズム） ・日高物語観光の実施検討 ・「沙流（さる）ユウカラ街道」、「優駿 浪漫街道」、「とんがりロード」にお ける街道観光の実施検討 ・食観光の実施検討 ③フラワーツーリズムの実施検討 ・例）「日高さくら十景」の活用など ④各種イベントとの連携	・人材の確保と育成 ・ボランティアの拡大 ・ホスピタリティの 向上 ・受入体制の整備 ・情報収集、 情報発信の整備 ・イベントの日程調整 ・国際化への対応

6 ルートの活動団体

1. 活動団体一覧

No.	活動範囲	活動団体名	代表者
1	えりも町	えりも町商工会	大坂 庄吉
2	えりも町	えりも建設協会	坂田 充
3	えりも町	えりも町青年団体連盟	吉田 祐一
4	えりも町	あけぼの自治会	川村 一治
5	様似町	様似町商工会	工藤 仁
6	様似町	様似建設協会	池田 尚登
7	様似町	花を植える会	辻 玲子
8	浦河町	浦河商工会議所	上田 正則
9	浦河町	浦河建設協会	手塚 純一
10	浦河町	一般社団法人 浦河観光協会	木田 尚孝
11	新ひだか町	新ひだか町商工会	河原 秀幸
12	新ひだか町	一般社団法人 新ひだか観光協会	佐藤 雅裕
13	新ひだか町	新ひだか建設協会	幌村 司
14	新ひだか町	みついし花遊会	漆原寿美子
15	新冠町	新冠町商工会	中山 智仁
16	新冠町	新冠建設協会	佐藤 淑人
17	新冠町	新冠町観光協会	中山 智仁
18	新冠町	新冠判官太鼓保存会	橋本 正美
19	新冠町	新冠郷土文化研究会	乾 芳宏
20	新冠町	中央自治会	中村 陸男
21	新冠町	北星自治会	鹿野 慎二
22	日高町	日高町商工会	上田 守
23	日高町	日高町建設協会	加藤 義昭
24	日高町	日高地域活性化協議会	大野 正夫
25	平取町	平取町商工会	櫻井 幹也
26	平取町	平取町建設協会	津川 司
27	日高町・平取町	特定非営利活動法人 沙流川愛クラブ	工藤 正史
28	日高町・平取町	イザベラ・バードの道を辿る会	金子 正美
29	日高管内全域	日高信用金庫	大沼 孝司
30	日高管内全域	日高建設協会	池田 尚登
31	日高管内全域	北海道サイクリング協会日高支部日高サイクリング協会	石井 健一

2. 活動団体概要

1	活動団体	えりも町商工会	活動分類		
	活動概要	・商店街の活性化 ・創業支援や他企業への経営支援 ・観光イベント開催支援や各団体等へのイベント活動の支援 ・地域の美化や緑化 ・地域の環境保全	景観	地域	観光
			●	●	●
	活動範囲	えりも町			
2	活動団体	えりも建設協会	活動分類		
	活動概要	・建設業は、地域の基幹産業であり地域経済の活性化に取り組んでいる ・雇用の確保に貢献 ・災害発生時には、住民の安全確保するため応急復旧活動に取り組んでいる ・住民の生活道路の監視に取り組んでいる ・年に一度の、道道・町道・観光地周辺（襟裳岬）の道路清掃を実施	景観	地域	観光
			●	●	●
	活動範囲	えりも町			
3	活動団体	えりも町青年団体連盟	活動分類		
	活動概要	・町外から訪れる方々への「おもてなし」としての環境美化・景観美化を実施している ・年に一度の、国道及びポートサイト小公園周辺の清掃及び植栽活動を実施している	景観	地域	観光
			●	●	●
	活動範囲	えりも町			
4	活動団体	あけぼの自治会	活動分類		
	活動概要	・景観美化のための植栽及び除草 年に一度の、約1,000本の町道沿線の花植え及び7月から9月までの3回の除草作業	景観	地域	観光
			●	●	●
	活動範囲	えりも町			
5	活動団体	様似町商工会	活動分類		
	活動概要	・商店街の活性化 ・創業支援や他企業への経営支援 ・観光イベント開催支援や各団体等へのイベント活動の支援 ・地域の美化や緑化 ・地域の環境保全	景観	地域	観光
			●	●	●
	活動範囲	様似町			
6	活動団体	様似建設協会	活動分類		
	活動概要	・建設業は、地域の基幹産業であり地域経済の活性化に取り組んでいる ・雇用の確保に貢献 ・災害発生時には、住民の安全確保するため応急復旧活動に取り組んでいる ・環境美化のための清掃活動を実施 ・住民の生活道路の監視に取り組んでいる	景観	地域	観光
			●	●	●
	活動範囲	様似町			
7	活動団体	花を植える会	活動分類		
	活動概要	・花を植栽する活動により、「地域活性」、「景観づくり」の構築を図る ・景観美化のための清掃、除草、花の手入れ植栽 ・国道沿いに花植え作業を毎月7日間程度実施（5～10月まで）	景観	地域	観光
			●	●	●
	活動範囲	様似町			

8	活動団体	浦河商工会議所	活動分類		
	活動概要	・地域経済社会の新興・発展や社会福祉の増進を目的 ・経営相談サービスの実施 ・商工業に関して、相談に応じ、及び指導を行っている ・商工業に関する講演及び講習会を開催 ・商工業に関して、観光事業の改善発達を図る	景観	地域	観光
			●	●	●
9	活動範囲	浦河町			
	活動団体	浦河建設協会	活動分類		
	活動概要	・建設業は、地域の基幹産業であり地域経済の活性化に取り組んでいる ・雇用の確保に貢献 ・災害発生時には、住民の安全確保するため応急復旧活動に取り組んでいる ・住民の生活道路の監視に取り組んでいる ・年に一度の、国道周辺及び観光地周辺の清掃活動	景観	地域	観光
			●	●	●
10	活動範囲	浦河町			
	活動団体	一般社団法人 浦河観光協会	活動分類		
	活動概要	・観光行事の共催・後援 ・まつり、イベントでの観光キャンペーン ・観光情報の発信 ・観光ガイドマップの発行 ・観光グッズの販売等	景観	地域	観光
			●	●	●
11	活動範囲	浦河町			
	活動団体	新ひだか町商工会	活動分類		
	活動概要	・商店街の活性化 ・創業支援や他企業への経営支援 ・観光イベント開催支援や各団体等へのイベント活動の支援 ・地域の美化や緑化 ・地域の環境保全	景観	地域	観光
			●	●	●
12	活動範囲	新ひだか町			
	活動団体	一般社団法人 新ひだか観光協会	活動分類		
	活動概要	・観光行事の共催・後援 ・まつり、イベントでの観光キャンペーン ・観光情報の発信 ・観光ガイドマップの発行 ・観光グッズの販売等	景観	地域	観光
			●	●	●
13	活動範囲	新ひだか町			
	活動団体	新ひだか建設協会	活動分類		
	活動概要	・建設業は、地域の基幹産業であり地域経済の活性化に取り組んでいる ・雇用の確保に貢献 ・災害発生時には、住民の安全確保するため応急復旧活動に取り組んでいる ・景観美化のための清掃活動を実施 ・住民の生活道路の監視に取り組んでいる	景観	地域	観光
			●	●	●
13	活動範囲	新ひだか町			

14	活動団体	みつし花遊会	活動分類		
	活動概要	・ 景観美化のための植栽及び清掃 - 年に2度、春と夏に国道235号三石本町地区の道路沿いの植栽柵に植栽及び清掃管理を実施 ・ 町外から訪れる方々に良い印象を持ってもらうため環境美化・景観美化を実施している	景観	地域	観光
			●	●	●
	活動範囲	新ひだか町			
15	活動団体	新冠町商工会	活動分類		
	活動概要	・ 商店街の活性化 ・ 創業支援や他企業への経営支援 ・ 観光イベント開催支援や各団体等へのイベント活動の支援 ・ 地域の美化や緑化 ・ 地域の環境保全	景観	地域	観光
			●	●	●
	活動範囲	新冠町			
16	活動団体	新冠建設協会	活動分類		
	活動概要	・ 建設業は、地域の基幹産業であり地域経済の活性化に取り組んでいる ・ 雇用の確保に貢献 ・ 災害発生時には、住民の安全確保するため応急復旧活動に取り組んでいる ・ 景観美化のための清掃活動を実施 ・ 住民の生活道路の監視に取り組んでいる	景観	地域	観光
			●	●	●
	活動範囲	新冠町			
17	活動団体	新冠町観光協会	活動分類		
	活動概要	・ 観光行事の共催・後援 ・ まつり、イベントでの観光キャンペーン ・ 観光情報の発信 ・ 観光ガイドマップの発行 ・ 観光グッズの販売等	景観	地域	観光
			●	●	●
	活動範囲	新冠町			
18	活動団体	新冠判官太鼓保存会	活動分類		
	活動概要	・ 和太鼓の演奏活動を通じた地域のPR活動 ・ 地域の人や来訪者が明るく快い気持ちになる環境づくり ・ 地域へのシーニックバイウェイの周知	景観	地域	観光
			●	●	●
	活動範囲	新冠町			
19	活動団体	新冠郷土文化研究会	活動分類		
	活動概要	・ 年に一度の判官館森林公園の国道周辺のツツジ植栽、周辺草刈り ・ 新冠町郷土資料館前庭の清掃 ・ ふるさとの木の周知	景観	地域	観光
			●	●	●
	活動範囲	新冠町			
20	活動団体	中央自治会	活動分類		
	活動概要	・ 春、秋（年2回）の自治会活動の一環とした住環境美化のための特別清掃 ・ 交通安全対策を含めた交差点周辺の草刈り ・ 道道沿線に植栽（プランター設置） ・ 地域へのシーニックバイウェイの周知	景観	地域	観光
			●	●	●
	活動範囲	新冠町			

21	活動団体	北星自治会	活動分類		
	活動概要	・年に一度、国道周辺及びレ・コードパーク周辺の清掃及び植栽 ・レ・コードパーク周辺の清掃及び植栽の手入れは、周辺の居住者により日常的に行われている	景観	地域	観光
	活動範囲	新冠町			
22	活動団体	日高町商工会	活動分類		
	活動概要	・商店街の活性化 ・創業支援や他企業への経営支援 ・観光イベント開催支援や各団体等へのイベント活動の支援 ・地域の美化や緑化 ・地域の環境保全	景観	地域	観光
	活動範囲	日高町			
23	活動団体	日高町建設協会	活動分類		
	活動概要	・建設業は、地域の基幹産業であり地域経済の活性化に取り組んでいる ・雇用の確保に貢献 ・災害発生時には、住民の安全確保するため応急復旧活動に取り組んでいる ・景観美化のための清掃活動を実施（舗道、植樹帯の雑草及び土砂の除去） ・住民の生活道路の監視に取り組んでいる	景観	地域	観光
	活動範囲	日高町			
24	活動団体	日高地域活性化協議会	活動分類		
	活動概要	・地域資源を活用した町民ガイドによるecoウォーキング ・移住生活体験ハウス利用者に対する町内観光名所等の案内 ・沙流川溪谷の紅葉や観光事業所を利用した参加者への観光ガイドツアー ・地域資源であるチロロの巨岩の石磨きと周辺草刈り、石の道しるべの周辺草刈り・清掃活動	景観	地域	観光
	活動範囲	日高町			
25	活動団体	平取町商工会	活動分類		
	活動概要	・商店街の活性化 ・創業支援や他企業への経営支援 ・観光イベント開催支援や各団体等へのイベント活動の支援 ・地域の美化や緑化 ・地域の環境保全	景観	地域	観光
	活動範囲	平取町			
26	活動団体	平取町建設協会	活動分類		
	活動概要	・建設業は、地域の基幹産業であり地域経済の活性化に取り組んでいる ・雇用の確保に貢献 ・災害発生時には、住民の安全確保するため応急復旧活動に取り組んでいる ・景観美化のための清掃活動を実施 ・住民の生活道路の監視に取り組んでいる	景観	地域	観光
	活動範囲	平取町			

27	活動団体	特定非営利活動法人 沙流川愛クラブ	活動分類		
	活動概要	・沙流川環境整備事として沙流川の河川清掃を実施 ・沙流川湖畔林植栽活動としては、サーモンパーク場内においてエゾヤマ桜やアカエゾマツ等の植栽を実施 ・オコタン川湿原周囲環境整備活動については、ミズバショウやヘイケホタルが自生している。魚類・ホタルの生息環境エリアを広げることを目的にオコタン川湖畔林植樹として多様な植樹を実施 ・日高源流域国有林枝打ち活動については、トドマツの枝打ちを行っており「自らの水源の木々」が大きく育つよう枝打ち作業を実施	景観	地域	観光
	活動範囲	日高町・平取町			
28	活動団体	イザベラ・バードの道を辿る会	活動分類		
	活動概要	・平取部会では、道内各地のイザベラバードの足跡を辿る活動の「旅の終着地」を背景とし、地域の自然・文化・歴史が再認識されることを目指してフットパスコースの整備や・維持・解説看板の設置、フットパス・イベントや広報活動を行っている ・各種ツアーの開催のほか、来訪者が自由にフットパスを利用できるようにマップや小冊子等により広報活動を強化している ・ツアーイベントでは「アイヌの星座文化」に関するワークショップを開催するなど、当地ならではの独創的な活動を行っている ・イザベラバードの旅した足跡は、かつての陸上交通の基幹道であり、現在の国道などの主要基幹道路となっている。このルートの今昔を、線形のみならず、地形や産業や文化など、多方面から見直すことで北海道の開拓の歴史や、アイヌ文化に触れる貴重な機会として活動を行っている	景観	地域	観光
	活動範囲	平取町・日高町			
29	活動団体	日高信用金庫	活動分類		
	活動概要	・地域社会の一員として地元の中小企業や住民との絆とネットワークを形成し、事域経済の持続的発展に努めている（本・各支店で事業展開） ・地域貢献活動…文化・環境・教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に向け取り組んでいる（文化活動、奉仕活動、イベント参加、スポーツ振興、環境美化活動） ・国道等の植栽及び清掃活動については、単独や地域団体と連携して実施	景観	地域	観光
	活動範囲	日高管内全域			
30	活動団体	日高建設協会	活動分類		
	活動概要	・建設業における技術の向上と経営の改善を図り、労働・交通災害防止に努めている ・生活と産業に係る地域整備を通じて地域生活に密着した基盤づくりに貢献すると共に地域の守り手として幅広い事業活動を展開している ・建設業の社会的使命の重要性並びに地位向上に関する啓発・社会奉仕活動	景観	地域	観光
	活動範囲	日高管内全域			
31	活動団体	北海道サイクリング協会日高支部日高サイクリング協会	活動分類		
	活動概要	・生涯スポーツとしてのサイクリングの普及と振興、国民の健康増進と生活環境の向上に資することを目的とする ・サイクリング道路としての調査研究を実施 ・一般道路（国道等）において、サイクリングを実施することにより車では気付かない箇所への確認通報により、道路管理者との連携を行っている	景観	地域	観光
	活動範囲	日高管内全域			

7 ルートの活動計画（案）

1. 候補ルート申請に向けた活動経過

シーニックバイウェイ講演会（平成 26 年 9 月）の開催をはじめとして、以降、数回の勉強会や先進地視察等を実施し、令和元年 8 月に準備会を開催しています。令和 3 年 3 月には、日高シーニックバイウェイルート代表者会議を正式に設立し、候補ルート申請に向けた準備を進めてきました。具体的な経過は下記の通りです。

1. 平成 26 年 9 月 1 日
 - ・新冠観光協会設立 50 周年記念講演会にてシーニックバイウェイ講演会を開催
2. 平成 26 年 12 月 5 日
 - ・勉強会 in 平取／ワーキンググループディスカッションを実施
3. 平成 27 年 1 月 28 日
 - ・勉強会 in 新ひだか／ワーキンググループディスカッションを実施
4. 平成 27 年 2 月 25 日
 - ・勉強会 in 様似／ワーキンググループディスカッションを実施
5. 平成 28 年 7 月 13 日
 - ・勉強会 in 新ひだか／協会立上げに向け参加者の賛同を得る
6. 平成 30 年 2 月 9 日
 - ・勉強会 in 浦河
7. 平成 30 年 9 月 7 日
 - ・十勝シーニックバイウェイ南十勝夢街道視察（先進地視察）・中札内村商工会訪問
8. 令和元年 5 月 29 日
 - ・令和元年度 第 1 回支笏洞爺ニセコルート代表者会議／オブザーバーとして参加
9. 令和元年 6 月 13 日
 - ・日高管内事務局長連絡会議にてシーニックルート勉強会を開催／北海道商工会連合会
10. 令和元年 8 月 9 日
 - ・第 1 回シーニックバイウェイ運営代表者会議準備会開催
11. 令和元年 10 月 23 日
 - ・日高管内商工振興研修会（札幌開催）にてシーニックバイウェイ講演会を開催
／講師…釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイルート 代表 桐木茂雄氏
12. 令和 3 年 3 月 30 日
 - ・日高シーニックバイウェイルート代表者会議設立総会を開催
13. 令和 3 年 6～7 月
 - ・日高シーニックバイウェイ各町参加団体への説明
14. 令和 3 年 7 月 21 日
 - ・シーニックバイウェイについての勉強会を開催
／主催：プロGRESS日高

15. 令和3年12月1日

- ・日高シーニックバイウエイルート代表者会議
第1回実務者部会を開催

16. 令和4年1月31日

- ・日高シーニックバイウエイルート代表者会議
第2回実務者部会を開催

17. 令和4年3月23日

- ・令和3年度
第1回日高シーニックバイウエイルート代表者会議を開催

18. 令和4年7月21日

- ・室蘭開発建設部、北海道開発技術センター、新ひだか町商工会（事務局）での3者打合せ

19. 令和4年8月1日

- ・令和4年度 第1回日高シーニックバイウエイルート代表者会議を開催／参加団体：7団体



第2回実務者部会の様子



第1回ルート代表者会議の様子

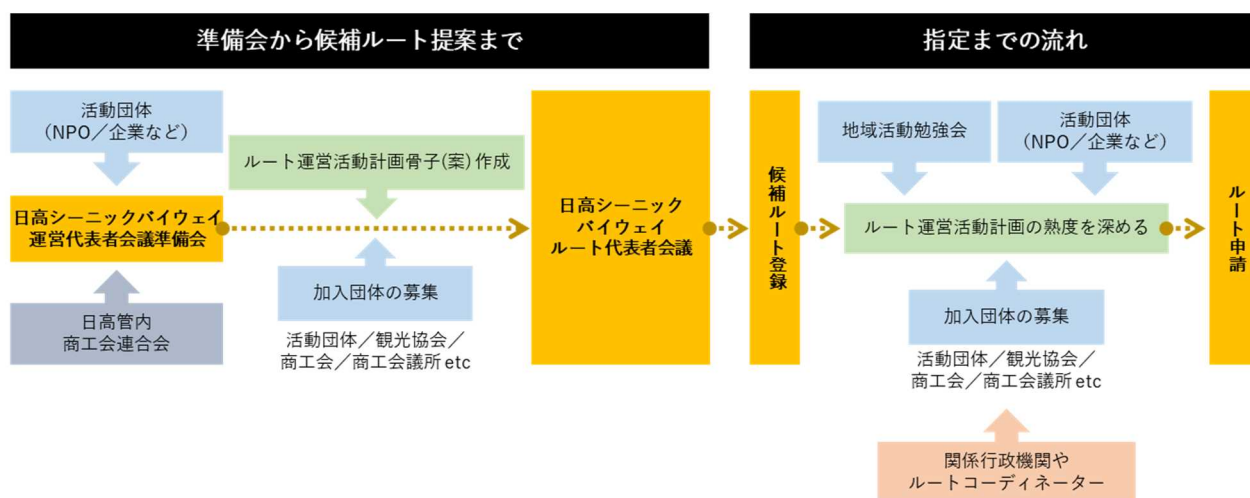
2. 今後の活動予定（案）

活動目標	活動内容	令和4年					令和5年						
		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
地域の歴史・ 自然環境を活かした 景観づくり	①ルートの景観診断		●		●			●				●	
	②地域の歴史・自然環境ポイントの発信		●		●						●	●	
	③景観に配慮したビューポイント案内の検討 （案内サインの企画）	●		●									
	④道路河川清掃活動			●							●	●	
地域の特性と文化を 活かした 地域づくり	①日高シーニックバイウェイ広報ツールの作成・情報発信 （HP・SNS等）				●			●					
	②ロードマップの作成				●			●					
	③道の駅と連携した地域づくり		●					●					
	④文化や歴史・芸術・食と連携した地域づくり	●	●	●		●						●	
地域産業と特性を 活かした 観光空間づくり	①サイクルツーリズム		●								●		●
	②ラーニングツーリズム（体験型ツーリズム）		●								●		●
	③フラワーツーリズムの実施検討			●							●	●	
	④各種イベントとの連携	●	●	●							●		●
会議等	ルート運営代表者会議	●							●	●			
	実務者部会・ワーキンググループ等	●							●	●			
	ルート指定に向けた申請書の作成等	●								●	●	●	●

3. 指定ルートの提案に向けて

日高シーニックバイウェイでは、候補ルート登録後も引き続き、加入団体を募集します。各種活動を展開しながら他分野の仲間づくりを行い、概ね2～3年後のルートを目指します。

さらに、指定ルートの提案に向けては、自治体などの行政機関との連携も不可欠と考えます。当ルートでは、日高シーニックバイウェイ運営代表者会議準備会での活動段階から、日高管内7町と観光協会を訪問し、日高地域におけるシーニックバイウェイ活動の周知と連携について意見交換を行っており、引き続き、管内の自治体との連携体制を構築していきます。また、準備会からオブザーバー参画いただいている日高振興局においても、引き続き、ルート活動の応援者として参画いただき、オール日高で活動を展開し、指定ルートの提案に向けて熟度を高めていきます。



8 写真提供元一覧

日高シーニックバイウエイルート運営活動計画骨子を作成するにあたり、提供いただいた写真と提供元は、下記の通りです。

表紙				
提供先	えりも町	様似町	浦河町	新ひだか町
表紙				
提供元	新冠町	日高町	平取町	
1 ルートのエリア及び概要				
提供元	様似町	浦河町	様似町	
2 ルート名称とテーマ				
提供元	新ひだか町	新ひだか町	新ひだか町	
3 ルートの特性と課題				
提供元	新冠町	平取町	平取町	新ひだか町
3 ルートの特性と課題				
提供元	日高町	えりも町	浦河町	浦河町
3 ルートの特性と課題				
提供元	新ひだか町	平取町	平取町	浦河町
3 ルートの特性と課題				
提供元	浦河町			